

# 東淀川ボラセン通信

私たち、こんな活動しています!  
区内のボランティアグループのご紹介



**目的** サークルの初級教室ではマンツーマンで基礎からしっかり学び、手話教室ではスムーズな指文字表現や正しい単語等の繰り返しが大切です。手話通訳者養成講座では、技術ばかりに囚われず聴覚障がい者が理解できる通訳者を育てることが目的です。手話コースは、表現の豊かさを大切に、見てくださる方々に「感動」を伝えようと頑張っています。いい加減なこと、甘えは許されない厳しいサークルですが、会員は年々増えています。古い人、新しい人の隔たりなく、友達のような家族的なサークルです。

**活動内容** 手話通訳養成講座、初級教室など区内での各種イベントでの手話通訳

**活動日時**  
① 淡路福祉会館(淡路四丁目23-6)  
毎週木曜日 18:30~20:30  
② 東淀川区内の各イベントなど(不定期)

## 東淀川区ボランティア・市民活動センター

ほほえみ3階 TEL.6370-1630 月~土曜 9:30~17:00 (日・祝、年末年始を除く)

http://higashiyodogawa-vc.org/

**警察からの重要なお知らせ**  
**こんな電話はすべて詐欺です!**

**「ATMで返金します」**  
医療費・税金・健康保険料などを返金するからとATMへ誘導し、現金をだまし取ります。ATMへは絶対に行かないようにしましょう。

**「名義を貸して」「権利をゆずって」**  
あなたの名義や権利をゆずると食い下がり、承諾すると別の人から「名義貸しは犯罪だ」「裁判になる」「消すのに現金が要る」と現金を要求します。毅然と断りましょう。

**現金を「送って」「持ってきて」「取りに行く」**  
いきなり現金を要求する電話は詐欺です! 迷わず110番が最寄りの警察署へ電話してください。

大阪では、**高齢者をねらった特殊詐欺\*被害が急増しています**

\*特殊詐欺とは…これまで被害の多かったオレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金詐欺等の「振り込み詐欺」に加え、金融商品取引名目詐欺、ギャンブル必勝法情報提供名目の詐欺、異性の交際あっせん名目の詐欺等の手口を総称しています。

東淀川警察署 防犯係 TEL.6325-1234 内線263

●お問い合わせは… 社会福祉法人 大阪市東淀川区社会福祉協議会 〒533-0022 大阪市東淀川区菅原4-4-37 東淀川区在宅サービスセンター「ほほえみ」内 月~金曜/9:00~19:00 ●土曜/9:00~17:30 ●休館日/日曜、祝日、年末年始

賛助会員・ボランティア活動・地域活動・介護予防 事業・生活福祉資金・共同募金等に関する事は… TEL.6370-1630 FAX.6370-7330

地域包括支援センター(高齢者総合相談窓口) ケアプランに関する事は… TEL.6370-7190 FAX.6370-7114

あんしんさぽーと に関する事は… TEL.6370-7221 FAX.6160-0312

この広報紙は、共同募金配分金により作成されています。折り込みは、朝日・毎日・読売・産経新聞の朝刊です。新聞折り込みの他、区内官公署、社会福祉施設等に設置しています。

# 地域における要援護者見守りネットワーク強化事業のお知らせ

## 1 対象者の皆様へ同意書をお送りしています!

区役所が保有する行政情報を基に、今年度の対象者(※)へ同意書を送付しました。発送した方々から順次ご返信をいただいています。ご協力ありがとうございます。返信のない方は、ご家庭を訪問し、同意の有無の確認をさせていただきます。

本人の同意を得た要援護者の情報は、集約した後、地域での平時の見守り活動や災害時の避難支援の備えにつなげてまいります。

※ 今年度の対象者 ◆「身体障害者1,2級」の方 ◆今年度に「要介護3以上」または「認知症日常生活自立度Ⅱ以上」の方

## 2 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見事業の「第1回 認知症高齢者等見守りネットワーク事業連絡会」を開催!

11月2日(水)、ほほえみ5階において、認知症高齢者等の行方不明時の早期発見にかかる「第1回 認知症高齢者等見守りネットワーク事業連絡会」を開催しました。最初に、「認知症サポーター養成講座」として、徘徊している人への声のかけ方や対応方法、また、認知症の治療や予防の話を行いました。その後、大阪府内の認知症高齢者等の行方不明の実態が報告された後、引き続きグループワークを行いました。参加者からは、実際に認知症になる恐れの人が増えてくる現状を踏まえて、地域で支えていく体制また様々な事例を基に話しをしていく場を設けて欲しいとの声がありました。これからも協力団体を増やし、認知症になっても東淀川区で住み続けることができる地域づくりを目指していきたいと思っております。

お問い合わせ…見守り相談室 TEL.6160-0311



連絡会でのグループワークの様子

# 生活福祉資金の相談・受付のご案内

安定した生活を営むために、低利で必要な資金をお貸しする制度です。

大阪府社会福祉協議会(府社協)の事業で、当会が相談・受付の窓口となっています。貸付には条件があるほか、府社協での書類審査等の結果、ご利用いただけない場合もあります。

○対象者…低所得者、障がい者または高齢者の世帯で、東淀川区内に居住する方(居住地と住民票が一致すること)

○資金の種類…福祉資金、教育支援資金、総合支援資金、不動産担保型生活資金、緊急小口資金

パンフレットは当会にあります。下記の府社協ウェブサイトからもダウンロードできます  
府社協のアドレス  
http://www.osakafusyakyoku.or.jp/  
▶府社協HPから生活支援部のページへ

お問い合わせ…地域支援担当 TEL.6370-1630 月~金/9:00~17:00(相談は要予約)

# 東淀川社協だより

平成28年11月号 No.87

編集・発行 / 大阪市東淀川区社会福祉協議会 広報部 〒533-0022 大阪市東淀川区菅原4-4-37 TEL.6370-1630 FAX.6370-7330

時間や場所がわからない! もの忘れがひどい! …もしかして認知症!?

認知症相談は 〈認知症初期集中支援チーム〉

# ほほえみオレンジチームへ!!

7730-0002 -相談無料・秘密厳守-

区在宅サービスセンター ほほえみ1階(菅原4-4-37)  
相談時間…月~金 9:00~17:30(祝・年末年始を除く)

## ほほえみオレンジチームは…

認知症サポート医と医療・介護福祉の専門職で構成。認知症になっても、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるようサポートします。チーム員がご家庭を訪問し、ご本人の状態やお困り事をお聞きします。また、アセスメントや受診勧奨、家族サポートなど、一人ひとりの状況に合わせた支援の方向性を、話し合いながら決定し、ご本人やご家族の自立生活のためのサポートを集中的に行います。

## 対象となる方は…

区内在宅の40歳以上の方で、認知症が疑われる方、または認知症の方で以下のA、Bのいずれかに該当する方

- A** 医療や介護サービスを受けていないか、または中断している方で次のいずれかに該当する方
- ① 認知症疾患の臨床診断を受けていない方
  - ② 継続的な医療サービスを受けていない方
  - ③ 適切な介護サービスに結び付いていない方
  - ④ 介護サービスが中断している方
- B** 医療サービス、介護サービスを受けているが認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している方

## 若年性認知症のご相談もお気軽に!

ご相談された方の声

- ◆ためらわずに、もっと早く相談すれば良かった
- ◆こんなチームがあるなんて知らなかった
- ◆話を丁寧に聞いてもらって安心した
- ◆病院と一緒に連れてもらえて心強かった

# Safe Cafe オレンジドーナツ

コーヒーや紅茶などを飲みながら、認知症への理解を深め、語り合うカフェ「オレンジドーナツ」を概ね2か月に1回程度開催しています。今回は、歯科医師のお話、相談コーナー、イベント企画などの予定で、次のとおり開催します。申込不要、はじめての方もお気軽に「ご来店」ください。

日時 12月3日(土) 13:00~16:00

場所 よどまちカフェ(よどまちステーション内)

豊新4-26-3(阪急上新庄駅南口から南へ約250m、もと淀川キリスト教病院附属レディースクリニック)  
★公共交通機関をご利用ください。

メニュー コーヒー・紅茶・ジュースなど ドーナツ1個つき 一律300円

お問い合わせ…区社協 TEL.6370-1630(前日まで) 主催:ひがしよどがわキャラ・メイト

家族がつくった認知症早期発見の目安

会メッセージ 公益社団法人 認知症の人と家族の会 作成

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

いくつか思い当たることがあれば、一応専門家に相談してみることがよいでしょう。

- もの忘れがひどい
- 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
- 判断・理解力が衰える
- 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 6. 新しいことが覚えられない
- 7. 話のつじつまが合わない
- 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった
- 時間・場所がわからない
- 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10. 慣れた道でも迷うことがある
- 人柄が変わる
- 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13. 自分の失敗を人のせいにする
- 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた
- 不安感が強い
- 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17. 「頭が変になった」と本人が訴える
- 意欲がなくなる
- 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりがいる

◎下記のホームページからもご覧になれます。  
http://www.alzheimer.or.jp/

自分で家族で友人同士でチェックしてみよう!

これまでの開催実績

- 1 H27.10.12(月) ASA上新庄店
- 2 H27.12.19(土) 相川福祉会館
- 3 H28.2.11(木・祝) 西淡路希望の家
- 4 H28.4.16(土) 飛鳥ともしび苑
- 5 H28.6.18(土) グループホームきらら東淀川
- 6 H28.10.15(土) 在宅SCほほえみ



グループホームきらら東淀川でのカフェ「オレンジドーナツ」の様子

# 区社協法人設立25周年記念事業を開催しました

当協議会は、昭和26年2月に任意団体として創立後、平成3年10月に社会福祉法人化され、本年で25周年を迎えました。これを記念して、11月12日(土)、区民ホールにおいて『記念式典&講演会』を開催、約300名の参加者で賑いました。

午後には、同ホールと区役所内で実行委員会による『わくわく子育てのりちゃんフェスタ』を開催、親子づれであふれました。また、区在宅サービスセンターでは『ほほえみフェスタ』、区老人福祉センターでは『文化祭』を開催。それぞれ大勢の参加者があり、秋の1日を楽しんでいただきました。

社会福祉法人改革がすすむなか、当協議会は『社会福祉協議会』として、地域の多数の福祉団体や福祉施設の参加のもと、地域福祉の推進に今後ともまい進してまいります。



# 『古武術で体ラクラク介護講座』を開催しました

10月22日(土)、東淀川区地域包括支援センターと大桐総合相談窓口(ランチ)「おおぎり」の共催による『古武術で体ラクラク介護講座』を、東淀川区在宅サービスセンター「ほほえみ」で開催しました。

講師には、古武術介護で注目されている理学療法士・介護福祉士の岡田慎一郎先生をお招きしました。実際にご家族を介護されている方など定員を上回る応募があり、盛況でした。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



●前半は、介護のための体づくりとして、全身を運動させる体の使い方の講義と体験でした。参加者全員で介護技術の土台となる股関節の動きを引き出す動作、腕と背中と肩甲骨をきちんと運動させる上半身の使い方、体幹の正しい姿勢などを学びました。参加者は、介護するための体づくりの大切さを実感されていました。

●後半は、前半で学んだ体の動きを介護ベッドや車いすを使って実技を行いました。腕の筋力だけで介護すると体を痛めてしまいます。しかし、肩甲骨を左右に広げると背中と腕とが運動して負担なく大きな力が引き出せ、介助も楽に行えるようになります。また、介護者の骨盤の位置を相手の骨盤の位置よりも低くすると無理なく立ちあがることなど、少しの工夫で介護する側もされる側も楽な介護ができることを実感しました。

●参加者からは質問が絶えず、関心の高さが伺えました。楽に介護できたことで参加者から感嘆の声が上がり「目からウロコのことが多かった」という感想が聞かれました。

先生が見本 ちよつこの工夫で介護がラクラク！ 少ない負担でベッドへ移動

### 東淀川区介護者家族の会 ほほえみの会

介護をしている人、  
していた人たちが集い、  
励ましあったり、共感したり…  
ひとりて抱え込まないで、  
時間のあるときに  
お気軽にご参加ください。

日時 毎月第3木曜日  
午後1時30分～3時

場所 区在宅サービスセンター  
ほほえみ 5階会議室

お問い合わせ TEL.6370-7190

## 1 記念式典&講演会

(式典) 東淀川区長、大阪市社会福祉協議会会長、区内選出市会・府議会議員、官公署長など多数のご来賓の出席のもと、永年にわたり地域福祉の推進に貢献された個人・団体に表彰状をお送りしました。



講師に、落語家の桂春蝶さんをお招きし、「笑いでココロとカラダを整える～スマコロジーのすすめ～」と題してご講演いただきました。「スマコロジー」は、「スマイル=笑顔」+「サイコロジー=心理学」から作られた春蝶さんオリジナルの造語です。「笑い」と心理学を取り入れ、笑いに説得力を兼ね備えた「笑いあり涙あり」のココロとカラダを整える講演会で、会場からは笑いがあふれていました。

- 表彰状を受けられた個人(順不同・敬称略)
- 吉田 正則(豊里) 伊賀 照子(淡路)
  - 松山 末子(大隅西) 生島 喜信(下新庄)
  - 岩下 秀夫(啓発) 表西 弘子(西淡路)
  - 倉田 秀太郎(新庄) 末満 進(大隅東)
  - 古泉 進(東井高野) 高垣 俊夫(大道南)
  - 中 保昌(東淡路) 辻林 宏孝(東淡路)
  - 中畑 鴻(菅原) 霧田 雄二(大隅東)
  - 松村 寛(小松) 原田 幸悦(啓発)
  - 森川 正(淡路) 藤谷 俊夫(井高野)
  - 山田 力(豊里南) 増田 光司(淡路)
  - 吉川 正司(井高野) 出原 寛美(豊新)
  - 寺元 誠一(東井高野) 木南 龍雄(新庄)

- 表彰状を受けられた団体(順不同)
- 手話サークル「ほたる」ボランティアサークル 淀の会  
音訳ボランティア つばさ  
精神保健ボランティアグループ「はっぴい・サラダ」  
東淀川ちよぼらの会  
手話サークル すみれ  
区内各地域高齢者食事サービス委員会(17団体)\*  
区内各地域子育てサロン(19団体)\*  
\*団体名称は、紙面の都合で省略しました。ご了承ください。



## 誰もが相互に人格と個性を尊重し合う「共生社会」を創ろう！ 12月3日(土)～9日(金)は『障がいの週間』です

障がいの週間とは…昭和50年12月9日、国連総会で「障害者の権利宣言」が採択され、昭和56年に、国際障害者年推進本部が12月9日を「障害者の日」としました。また、昭和57年12月3日、国連総会で「障害者に関する世界行動計画」が採択され、平成4年には、12月3日を「国際障害者デー」とすると宣言しました。

平成7年に、障害者施策推進本部が、「国際障害者デー」の12月3日から日本の「障害者の日」である12月9日までの1週間を「障害者週間」としました。

★東淀川区地域自立支援協議会の取り組み…障がいのある方の地域における生活を支援し、自立と社会参加を推進するため、相談支援事業をはじめ、障がい者福祉に関するシステムづくりの中核的な協議の場として活動しています。

日頃から利用できる相談支援事業所

わかくさ	大道南2-6-3 TEL) 6990-4007 / FAX) 6990-4008
自立生活センター Flat-きた	豊新2-5-1 シャトー玉川第一103号 TEL) 6325-9992 / FAX) 4307-3673
ういすサポートセンター	東淡路2-9-12 TEL) 6379-1059 / FAX) 6321-3481
こころの相談室 リーフ	西淡路1-13-25 障がい者センター翔鶴2階 TEL) 6815-8975 / FAX) 6315-8976
大阪市立淡路こども園	西淡路5-1-12 TEL) 6323-6395 / FAX) 6323-2856

# 第70回『赤い羽根共同募金運動』実施中！

# 今年も皆様の 10月1日▶12月31日 温かいご支援をお願いします！！

共同募金運動は、今年、70回目の運動を迎えました！  
昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まった共同募金運動は、今年で70周年を迎えました。東淀川区の課題解決に取り組むさまざまな民間団体を支援する「じぶん町の町を良くするしくみ。」として、長い間皆様の温かい力に支えられてまいりました。寄付者・ボランティアの皆様にご心よりお礼を申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

### さまざまな募金活動を行っています！

共同募金東淀川地区募金会では、ご家庭を訪問して募金をお願いする「戸別募金」、区内の駅前やスーパーなどで女性部(会)が実施する「街頭募金」、小・中学校や高等学校の児童・生徒による「学校募金」、バッジや図書カードなどの「募金グッズ」の販売、企業や官公庁などの職場で行う「職場募金」、企業に寄付をお願いする「法人募金」、「インターネット募金」などを展開しています。

- 崇徳寺駅前のスーパーで募金を呼びかけ
- おそろいの割ほり着で募金を呼びかけ(淡路駅前)

当会は、共同募金配分金を地域福祉向上のための事業に活用させていただいています。  
●高齢者福祉月間の区内最高齢者訪問、金婚ご夫婦への記念品贈呈、あんま施療事業、各地域の敬老大会への助成の他、ふれあいバスツアーの実施や広報紙「社協だより」の発行などです。

### 高齢者福祉月間事業報告

毎年9月は「高齢者福祉月間」です。永年にわたり社会に貢献されてこられた高齢者のご長寿をお祝いし、感謝の気持ちを伝える目的で、さまざまな事業を実施しました。

- 区内最高齢者訪問 女性最高齢者の辻ユキさん(106歳)、男性最高齢者の住本實さん(100歳)を当会の吉田副会長、金谷東淀川区長が訪問。ご長寿をお祝いし、記念品を贈呈しました。
- 金婚ご夫婦へのお祝い 今年度、金婚式を迎えられたご夫婦307組に、各地域社協のご協力により、お祝ひ品(屏風時計赤富士)を贈呈いたしました。いつまでもお幸せに過ごされますようお祈り申し上げます。
- あんま施療事業 9月30日、新庄地域、下新庄地域、西淡路地域において、大阪府立北視覚支援学校(大阪府立視覚特別支援学校が大阪府に移管された改称しました)との共催で、あんま施療を実施しました。毎年、ご好評をいただいているこの事業、今回も、どの地域も満員の大盛況でした。参加者からは「気持ち良かった！身体がほぐれて心も軽くなった。また受けたい！」と喜びの声があがりました。支援学校の皆様、ありがとうございました！



### ふれあいバスツアー開催報告

10月27日(木)、日常生活で介助や介護が必要な高齢者や障がいのある方など、外出のしにくい方々を対象に、今年も「ふれあいバスツアー」を開催しました。このツアー、共同募金の配分金を活用して、東淀川区身体障害者団体協議会との共催で開催しました。今年の行き先は、三田・丹波篠山方面で、総勢86名が参加しました。

午前中は、明太子がテーマの珍しい「めんたいパーク神戸三田」を見学。ちよつこと味見、そのお味はいかがでしたか？ その後、「三田ホテル」でバイキングの昼食。たくさん種類のお料理やスイーツなど心ゆくまで堪能。「もうお腹いっぱい！」と大満足の昼食でした。

午後は、丹波篠山の「大内農場」で丹波特産の黒豆枝豆狩りを体験。車いすでも体験できるように配慮されていた。たわわに実った枝から豆をどんどんちぎって、旬の素材をお土産に。珍しい体験に、秋空に楽しい笑い声が響きました。最後は、JA丹波ささやま味土里(みどり)館で休憩とお買い物。地元丹波産の特産物や野菜などを物色。楽しいひと時を過ごして、帰路に。事故やケガもなく、全員元気に帰阪できました。参加者とボランティアの皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。m(\_ \_)m

スタッフは、来年も皆様楽しんでいただけるバスツアーを開催したいと、今から意気込んでいます。ご期待ください！

